

「聖徒たちを整え」エペソ4：12

16・10・9

I 神の究極の目的は、すべてのものをもう一度一つに結び合わせる事。1：10。

教会の主な務めの一つは、それをこの世に表す事。ヨハネ17：21。それゆえ、教会が一致を保つ事は非常に大切。そのためにキリストご自身が、牧師、教師を教会にお立てになる。牧師は、人間が考え出した職務ではなく、キリストご自身が、教会に立てられた、与えられた賜物。

①教会が牧師を祈り求め迎える時は、良く祈り、教会のかしらであるキリストの御心を求める。主が立てられた、与えられた器として招き、共に教会を建て上げる為に。

②招かれる側の人も、良く祈り、教会のかしらである主の御心を求める。共に教会を建て上げる為に。

③教会のかしらは、主ご自身。それ故に、教会員も牧会者も、常に御言葉と祈りを通して主の御心を求め従って行けますように。無牧の教会に主の御心の牧会者が主の時に与えられますように。

J E C Aは、支え合う連合です。

II 主ご自身が、それぞれの教会に牧師をお立てになった目的。

1. 「聖徒たち（神に聖別され、神のものとされたクリスチャン）を整えて」。

クリスチャンは、洗礼がゴールではなく、洗礼はスタート。神は、一人一人を整えて、主の聖さと愛の御姿に成長させ続けられる。牧師はその御業の大切なお手伝いをする為に建てられる。牧師や主の働き人は神ではないので、牧師は神の協力者。主は「大牧者」（1ペテロ5：4）、牧師は、主に従う霊的副牧師、協力者。

パウロの言葉＝「私たちは神の協力者」「私が植えて（福音を語り植え）、アポロが水を注ぎました（御言葉を語り、霊的糧を与え、励ました）。しかし、成長させたのは神です」

I コリント3：9、6。

主の姿に整えられるのに必要な事＝

①牧師自身が悪から守られ聖さを保ち主の姿に成長させられ続ける必要がある。主の恵みと主の御言葉の通り良き管でなく、自分の罪で管を詰まらせているなら、礼拝の御言葉の恵みは、皆さんの心に届かない。祈りのしおりで、また、日々、数分でも牧会者の為に祈っていただきたい。

すべての働き人に霊的戦いがある。

②毎日の神との幸いな御言葉と祈りの交わりを教える。各自が実行し、その恵みを味わう。そこで養われる。

③主が満ち満ちて下さる、臨在して下さる礼拝の素晴らしさを教える。礼拝には、特別な恵みがあり、養われ、整えられる。

④牧師が、きめ細かく心を配れるのは、12人である。その根拠は聖書にある。イエス様の目標は、世界宣教と教会形成だった。世の効率主義の考えなら、出来るだけの多くの人々を使徒、弟子として集め訓練された方が効率的と思われる。しかし、あの有能なイエス様でさえ、12人の弟子しか選ばれなかった。主は、3年間、彼らを育て整え、世界宣教と教会の建て上げに遣わされた。ゼロから開拓をして、12人救われた後、どうしたら良いのだろう。現在も、世界中に、教会員が、30人、100人、500人、1,000人、1万人以上の教会がある。どのようにして牧会がなされているのだろう。それは、小グループでの相互牧会である。当教会でも、「御言葉を分かち合い祈り合うグループ」や組織化されていなくても、自由に声を掛け合い、主にある交わり祈りで励まし

合う相互牧会がなされている事を感謝したい。

- ⑤神は、私達を愛しておられるので、色々な出来事（失敗、試練、マイナスに見える事、辛い人間関係、神に抛り頼むしか道がない状況等）を通して私達を訓練し、主の御姿に整えて下さる。

「整える」の原語は、はずれてしまった骨を元に戻すという意。私達は、いつの間にか、自分の罪の故に、神との良い関係から外れ、霊的な脱臼をしてしまう。そんな時、神は、御言葉や色々な出来事を通して、私達の罪に気付かせ、悔い改め＝神の方に方向転換させ、神のもとに戻して下さる。有り難い、感謝！

- ⑥悩みの相談を受ける。祈りつつ良く聴き、導かれる助言をし、共に神を見上げる。

牧会は、時間を決められない。夜中もある。年代により家族の介護もある。祈りの支えなしにはできない。

2. 「奉仕の働きをさせ」。

7節にあるように主は、主の賜物の量りに従って、それぞれそれに奉仕の為の賜物を与えておられる。牧師一人の奉仕だけでは教会は建て上げられない。一人一人に主が与えられた賜物を見、希望を聞き、無理のないように喜んでできる分をお任せし、互いに協力し合う。奉仕が重過ぎる時は軽くする。奉仕も献金も神の数えきれない恵みへの感謝から生まれるものを神は喜ばれる。奉仕は個人プレーではなく教会の業でなければならない。個人プレーだと、何かの事情でその方が出来なくなると、誰もその奉仕の内容が分からないという事態になる。それ故に、初めは一人で始められた奉仕も、少しずつ、複数の人が共に重荷を負うようにする。互いに協力する時、交わりが生まれ、新しい人々、次の世代が育てられて行く。

3. 「キリストのからだ（教会）を建て上げる」。

教会は、ノンクリスチャンとの「関係作り伝道」と「救われたクリスチャンを愛をもって組み合わせ、結び合せ、共に神の教会を建て上げる」バランスが大切である。主に立てられた牧師は、このバランスを絶えず祈り求める。教会には、神が送られたノンクリスチャンを心から歓迎する心、態度、神が共に教会員とされた兄弟姉妹を互いに愛し合い、仕え合う心、態度の両方が大切である。

仕える心、協調する心のない人を神は用いられない。教会には、教会員、求道者の為に日々、祈り支える牧師が必要であり、日々、牧師の為に祈り支える教会員が必要である。

この祈りの支え合いで、神が働かれ、教会は建て上げられる。「祈りのしおり」等で祈り合い、神は働いて下さる。悪魔の誘惑に勝利する秘訣は、祈り合う事。

①牧師の側の祈り

「私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、あなたがたすべてのために祈る」

ピリピ1：3，4。

②牧会者の信徒への真剣な祈りの要請

「私のためにも祈ってください」「(福音を)語れるように、祈ってください」

エペソ6：19，20。